

5月26日(土)・27日(日)

明日から使える 歯内療法のエッセンス 2018

～ 髓腔開拓から根管拡大・
形成・根充まで～

時間 26日／15:00～19:00
27日／10:00～16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師

研修費 歯科医師(会員)65,000円、歯科医師(会費未納者、他大学)85,000円
※(実習材料費30,000円を含む)



木ノ本 喜史

医療法人豊永会きのもと歯科
大阪大学大学院歯学研究科臨床教授

[所属学会]
日本歯内療法学会
(副理事長, 総務委員会委員長, 専門医)
日本歯科保存学会(評議員, 指導医専門医)
日本顕微鏡歯科学会(理事, 認定指導医)
American Association of Endodontists、他

[略歴]

1987年 大阪大学歯学部卒業
1992年 大阪大学大学院歯学研究科修了 博士(歯学)取得
1997年～1999年
米国テキサス大学サンアントニオ校歯学部
歯内療法学講座客員研究員
2001年 大阪大学歯学部附属病院講師
2005年 吹田市にて開業
2009年 大阪大学歯学部臨床教授
2013,2014年
日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
2016年 (一社)日本歯内療法学会副理事長
2016年 広島大学歯学部非常勤講師

[近著]

- ・歯内療法成功への道 抜髄Initial Treatment 治療に導くための歯髄への臨床アプローチ ヒョーロン2016年7月.
- ・歯内療法成功への道 臨床根管解剖 基本的知識と歯種別の臨床ポイント. ヒョーロン. 2013年6月.
- ・歯内療法成功への道 根尖病変 治療へ向けた戦略を究める. ヒョーロン. 2013年6月.
- ・歯内療法成功への道 偶発症と難症例への対応 病態・メカニズムから考える予防と治療戦略 ヒョーロン. 2014.3.
- ・最新 歯内療法の器具・器材と臨床活用テクニック. 日本歯科評論 別冊2015. 2015年5月. 編著

歯内療法は、根管系から起炎物質を除去した後の緊密な充填により、歯を歯周組織の中で長期に安定した状態で機能させることを目標とする。そして、治療は基本的に歯の削除を伴うため歯質の保存を意識する必要がある。削りすぎると歯の寿命が短くなり、削り足りなければ操作が不十分になり満足な結果が得られない。毎日の臨床で歯内療法について悩んでいる割合は多いのではないのでしょうか。

歯内療法において診断がもちろん重要ではあるが、実際に根管にアプローチしていくと、髓腔開拓から根管口明示、そして根管の拡大・形成を、効率よく安全に確実に行うことが必須となる。今回は、プラスチック模型でイメージをつかんだ後、抜去歯を用いることで、根管へのアプローチを実際に見直す機会を提供したい。根管口の明示や根管形成などについて、抜去歯で試してみて、頭で考えているイメージと実際の根管で形成される形態をリンクさせることにより、自分に合った治療法を構築していただきたい。当日はマイクロスコープによる確認ができる環境も準備致します。安全・正確・迅速にという日常臨床で求められる要素を踏まえた歯内療法を実践するきっかけとなる研修会を目指します。